



浦島伝説

そうだ 本を読もう！

じっくり時間の取れる夏休みは、まとまった量の読書をするのに最適な時期です。各分野で一流になった人が共通に語るのは、ある時期に集中してその分野の本を片っ端から読みあさったということです。例えば世界一の企業を目指しているソフトバンクの創業者、孫正義さんは、病気で入院中に読書に励み、歴史物、コンピュータ関連書などを手当たりしだいに4000冊読んだと言われています。その圧倒的な読書量が、現在の驚異的な成功につながったようです。世界一や日本一を目指さないまでも、一つの分野の本を300冊読むと、その分野の専門家になれると言われているのです。

この夏休みに、興味・関心のある分野の本を集中して大量に読んでみましょう。みなさんの人生が変わるかもしれません。ネットからも断片的な情報を得ることはできますが、情報をきちんと積み重ねて整理し、自分のものとして身に付けて使いこなすためには、読書が絶対に必要です。

何を読んだらよいかわからない人は、次のリストを参考にしてください。また、夏休み前に、「きみが見つける物語 ～十代のうちに読んでおきたいこの一冊～」というパンフレットが図書委員会より配られます。あなたは、この夏、何を读みますか？ さあ、リストアップを始めましょう。

今年の課題図書

本の詳しい内容などは、「図書だより第3号（5月19日付）」をご覧ください。

- ・ホタルの光は、なぜだらけ（大場裕一）

光る生物のしくみや光の役割、どうして光るように進化したのかなど、発光生物のなぞや疑問を解こうとする研究を紹介しながら、科学者にとって必要で大切なことを伝えます。

- ・語りつぐ者（パトリシア・ライリー ギフ）

目鼻立ちがそっくりな、アメリカ独立戦争に巻き込まれた18世紀の少女と、21世紀の少女。羊皮紙に描かれた絵がふたりの少女をひきあわせる物語です。

- ・星空ロック（那須田淳）

14歳の少年レオのさわやかな成長物語。大人への階段をのぼる少年の姿が、あざやかに描かれた感動的な青春小説です。

香川の子どもたちに読んでほしい100冊（中学生からの40冊）

阿房列車（内田百閒） アラスカの詩（星野道夫） 伊豆の踊子（川端康成）
 宇宙からの帰還（立花 隆） ABC 殺人事件（アガサ・クリスティー）
 科学の考え方・学び方（池内 了） 木に学べー法隆寺・薬師寺の美（西岡常一）
 蜘蛛の糸・杜子春（芥川龍之介） 高野聖（泉 鏡花） 坂の上の雲（司馬遼太郎）
 砂糖の世界史（川北 稔） 三四郎（夏目漱石） 詞華断章（竹西寛子）
 自分の感受性くらい（茨木のり子） スローカーブを、もう一球（山際淳司）
 青春デンデケデケデケ（芦原すなお） 聖書物語（山形孝夫） そうだったのか！現代史（池上 彰）
 ゾウの時間ネズミの時間ーサイズの生物学（本川達雄）
 ダレン・シャンー奇怪なサーカスー（ダレン・シャン）
 探検！ことばの世界（大津由紀雄） 父の詫び状（向田邦子） 天平の薨（井上 靖）
 藤十郎の恋・恩讐の彼方に（菊池 寛） どくとるマンボウ青春記（北 杜夫） なまくら（吉橋通夫）
 半自叙伝・無名作家の日記（菊池 寛） 病牀六尺（正岡子規）
 平家物語を読むー古典文学の世界ー（永積安明） まちがったっていいじゃないか（森 毅）
 蜜柑（芥川龍之介） 三十一文字のパレット（俵 万智） 名人伝（中島 敦）
 モンテ・クリスト伯（デュマ） 八日目の蟬（角田光代） レポートの組み立て方（木下是雄）
 老人と海（ヘミングウェイ） 論語物語（下村湖人）
 香川の歴史ものがたり（香川県中学校社会科研究会）